

火おこしマスターキャンプ2日目

2日目の朝は、予定の起床時間よりも早く、子どもたちが起きてきました。

朝ごはんは「カートンドックとオニオンスープ」。ホットドックをアルミホイルに包み、牛乳パックに入れてパックごと燃やします。すると温かいホットドックの完成！「牛乳パックごと燃やす」ことに子どもたちは驚いていましたが、火を使った斬新な調理法を知っていただけたのではないのでしょうか。カートンドックもスタッフ作のオニオンスープもぺろりと平らげてしまいました。

朝ごはんのあとは使った宿泊棟の掃除です。みんなで一列になり床を拭き掃除。子どもたちのおかげで、宿泊棟が使う前よりもピカピカになりました。

2日目のメインプログラムは、班で一致団結しておこなう「紐切り式火おこし」です。3人の力で協力する火おこしですが、交代で休憩しながら火をおこしていきます。休憩しつつも「木くず落ちてる！」「火がおきたときのために枝拾ってくる！」と、全員で一つのミッションに臨んでいる姿がありました。ラストパートは、全員でロープやハンドルをもって全力で引き合い！火種が出てから、受け皿に落として息を吹きかけるとポウッと火が付きます。その瞬間、班員の歓声が聞こえてきました。全員で協力したからこそできた火おこしでした。

この2日間を通して、子どもたちは「火の性質や火おこしの基本」を学び、「仲間と協力して取り組んだことによる達成感や楽しさの共有」ができたことでしょう。今回のキャンプを経て、『火おこしマスター』に認定された子どもたちが、自信をもって今後も自然体験活動を楽しんでいただけたらと思います。

最後に保護者のみなさまへ、「火おこしマスターキャンプ」にお子様を送り出してください、誠にありがとうございました。今年度も、愛川ふれあいの村は様々な自然体験活動を提供してまいります。今回を機に、ぜひ次回のご参加もご検討いただけたら幸いです。



